



# しい の こ かげ 椎 の 木 陰

令和3年2月19日

昨年末に実施した学校アンケート結果について、学校運営協議会の委員の皆様にご意見を含めてお知らせしたいと思います。

まず、児童のアンケート結果についてです。全体に良い結果を得ることができました。100点満点で平均88点、学校アンケート20項目すべてが80点以上でした。中でも、本年度、最も指導に力を入れてきた、項目⑯~⑱『教師と児童の絆作り』や『生き方についての指導』の結果が、平均93.1点と特に良かったことをとてもうれしく思っています。この結果が示す通り、今年度はいじめや問題行動の発生が非常に少なく、落ち着いた学校生活ができていたものと考えています。

その反面、80点台と比較的低い結果となったのが『食育』『家庭学習』『読書』の項目でした。

『食育』については、家庭科の実習ができなかったり、栄養教諭を招いての食育指導が学校アンケート実施後になったりと指導の時期の遅れが響いた感は否めません。次年度は、時期を得た指導が年間を通して行われるように、年間計画を再考してまいります。『家庭学習』『読書』の項目につきましては、保護者の皆様の結果とも関連しますので、その中で考えをお示しします。



保護者の皆様の学校アンケート結果の平均は、100点満点に換算すると79.8点でした。特に低いとは言えませんが、全体的に児童より低調な結果となりました。その中で、良い結果となったのは、やはり項目⑯~⑱『教師と児童の絆作り』や『生き方についての指導』で、3項目の平均が88.1点でした。児童と同様な結果になったことはとても喜ばしいことです。



しかし、残念なことに『家庭学習』『読書』についても、児童と同様に低調な結果となってしまいました。今年度、本校では、家庭学習協調週間を設けたり、発達段階に応じた学習法についての例を示しながら

ら自主学習に取り組めるよう工夫したりと、新たな取組を始めました。家庭学習協調週間のアンケート結果の中には、「家族全体でノーテレビ・ノーゲームに取り組みました。」というありがたい内容のお話もありました。また、自主学習については、「家庭学習に、着実に取り組む子が増えてきている。」という報告も担任から聞いています。まだまだ始めたばかりで、子ども達の学習習慣として自主学習の定着が図れるまでには遠い道のりかとは思いますが、次年度も継続実施し、実り多い教育活動に育てていきたいと思っております。

『読書』につきましては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、図書室の利用を制限せざるを得ない状況が続きました。図書館や図書室からの貸し出し図書を使い読書活動推進を目指した授業を行ったり、教師による読み聞かせの時間を朝や国語の時間に取り入れたり、新聞を使った学習を年3回実施したりと、取り組んできたところです。次年度は、今年できなかった図書室の有効活用法をしっかりと考えることで、読書活動の充実を目指したいと思っております。



また、『手伝い』『整理・整頓』の項目については、学校での子ども達の頑張りが目立つ項目でした。子ども達も高く自己評価をしていました。それに比べますと保護者の皆様のアンケート結果は、余り思わしくありませんでした。学校は、子ども達の頑張りが良くなっている点について、もっと積極的に情報発信していくべきだったと反省しております。次年度は、子ども達の良さを伝えられるように、情報発信に力を入れて参ります。



この他にも、『挨拶』『交通ルールの遵守』の項目は、保護者の皆様のアンケート結果が児童の結果に比べて低く出ていました。子ども達への粘り強い指導の継続はもちろんですが、私達大人も『挨拶』『交通ルールの遵守』について自身を振り返り、子ども達の良き手本となれるよう心掛けて参りましょう。



結びといたしまして、この一年間学校を支えていただきました保護者・地域・関係組織、機関の皆様にお礼申し上げます。学校アンケートの総括報告とさせていただきます。

令和3年2月19日

下野市立国分寺小学校長 宮川長一

